

臨床研究の名称	特発性上葉優位型肺線維症（PPFE）の表現型分類と予後についての後方視的研究
研究責任者の所属・氏名	呼吸器内科 医長 大利 亮太
研究の概要	【目的】 特発性上葉優位型肺線維症（PPFE）は、肺の上の方が固くなって苦しくなる病気です。間質性肺炎で最も頻度の多い特発性肺線維症（IPF）は進行が速いと言われていますが、実は PPFE も IPF くらい病気の進行が速いのではないかと考えられています。しかし、PPFE は比較的まれな間質性肺炎のため、現時点では経過に関係する因子がよくわかっていません。 そのためこの研究では、PPFE の患者さんの様々な臨床情報を集めて、さらに CT 画像を定量解析した結果と合わせて、病気の経過に関係する因子を調べます。 【対象患者】 ① 先行研究「新薬創出を加速する人工知能の開発（研究番号 KCRC-19-0015）」と「間質性肺疾患とテロメア長についての探索的研究（KCRC-20-0046）」に参加した特発性 PPFE 患者さんと IPF 患者さん ② 2020 年 1 月～2022 年 12 月までに当院を新規受診し、特発性 PPFE と診断された患者さん 【方法】 ① 上記先行研究の情報を使用し、病気の経過に関係する因子を解析します。 ② 下記情報を収集し、①で得られた因子が正しいかを統計学的に検証します。 【使用する情報】 初診時患者情報（年齢、性別、喫煙歴、併存疾患、既往歴、家族歴、生活歴）、身体所見（身長、体重、ラ音）、血液検査データ、動脈血液ガス分析、呼吸機能検査、6 分間歩行試験、胸部画像検査（レントゲン、胸部 CT、CT の定量解析データ）、治療内容、在宅酸素療法の有無、臨床経過、予後情報、テロメア長（①の患者さんのみ対象） 【使用の開始予定日】 2026 年 2 月開始予定

問い合わせ先	呼吸器内科 医長 大利 亮太 〒236-0051 横浜市金沢区富岡東 6-16-1 神奈川県立循環器呼吸器病センター 電話番号 045-701-9581（代表）
--------	---

2026 年 1 月作成

※ 研究に情報を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益を生じることはありません。上記の問い合わせ先までご連絡いただけましたら、その方の情報は本研究に利用しないようにいたします。

※ 問い合わせ先の担当者が不在の場合は、臨床研究室にお問い合わせください。